

## 令和元年度 第2回安城市特別職報酬等審議会議事録要旨

日 時 令和元年11月22日（金）

午前10時から午前11時45分まで

場 所 安城市文化センター 302会議室

出席者 （委員） 竹内委員、神野委員以外出席（柴田委員は途中退席）  
（事務局） 企画部長、総務部長、人事課長、人事係長

<市民憲章の唱和>

1 会長あいさつ

2 議事

(1) 特別職の報酬等について

【事務局より資料説明】

会長                    それでは、安城市だけ見てもいけないので、周りの市や状況を勘案して、思われたことを率直に発言いただければと思います。

委員                    事務局案の金額等は、どのプランも特別職、市議会議員ともに統一になっていますが、例えば、特別職と市議会議員で%を変えた案を出すことは可能なのですか。

事務局                可能です。理由付けがしっかりできれば、そういう分けも問題ないと考えております。

                          特別職や議員の報酬の上げ幅は、安城市全体から見ればほぼ影響のない財政規模です。若干の引き上げも問題ありませんが、市を代表している方々の報酬について、対外的な姿勢として、どうメッセージを出すのかという点で議論していただければ助かります。

会長                    議員の定員が30人から28人に少なくなったとありましたが、人数をどういう数字に持っていこうとしているのかわかりますか。

事務局                事務局として目安は持っていません。市民目線で客観的な数字を見ていただき、どう判断されるかにかかっていると考えます。

委員                    議員1人当たりの人口の比較はできますか。

事務局                少しお時間をいただきたいので、また後ほどお願いします。

委員                    副市長について、また2名に戻る考えはありますか。

事務局 条例上の定数は2名として変わらず、市としては2名置きたいということですが、市と受けていただける方の意向等がマッチすれば、また2名体制に戻すということが良いかと思えます。

委員 大手企業も経営統合と言うような話もありますが、市として影響をどう見えていますか。

事務局 法人市民税としては一時的にはマイナスに働きますが、企業が立派に経営されていくように中長期的に見れば、そんなに悪いことではないと認識しております。

本市では、法人市民税自体のシェアが落ちており、逆に今1番大きな財源は固定資産税です。雇用が安定して住民に住んでいただき、固定資産税が順調に入れば心配ないと思っております。

会長 固定資産税が増えるとなると、農地の減少に繋がってきますか。

事務局 経済の視点で農業の従事者数や生産額を見ると工業に及びませんが、コミュニティー社会を支えてきたのは農業集落であり、環境面でも農業は非常に重要ですので、いろんな見方が必要と思っております。

委員 今年度の審議会の答申案が既に出た他市があれば、教えてください。

事務局 今年度は今審議をしているところで、前年度までの情報が最新です。

近隣の開催状況では、刈谷市、岡崎市、豊田市はいずれも平成30年度に開催しており、今年度は開催していません。安城市と1年ずれてしまっていますが、同じように隔年を原則として開催しており、刈谷市は、昨年度は変更なしの据え置きという答申をしております。

会長 刈谷市の前年据え置きの理由というのは何だったですか。

事務局 理由までは伺っておりません。申し訳ございません。

会長 豊田や岡崎はどうでしたか。

事務局 ホームページに上がっていた答申書の内容ですが、岡崎市では市長が6,000円、副市長が5,000円引き上げです。教育長は、恐らく法改正後にまだ特別職になる任期が来ておらず、掲載がありません。議員は、議長と副議長が4,000円、その他の議員が3,000円引き上げです。

豊田市では、議長が6,000円、副議長が4,000円、その他の議員が5,000円引き上げです。

委員 まだ安城市では起こっていませんが、地方に行けば行くほど行政議

員さんのなり手がいないという問題を見聞きしています。

月額報酬を聞くと、さほど低い気はしませんが、議員さんには昇給も保障もないですね。その中で頑張っていこうという意味では、副議長はデータの的に他市より上回っていても、議長、議員に関しては下回っているところを見ると、その辺りはモチベーションを上げて頑張ってもらいたい意味でも、上げる方向性の根拠にもなると考えます。

また、豊田と岡崎で6,000円や5,000円という大きい金額が出てきましたが、これを踏まえて現状の順位があると考えたと、その数値だけに振り回されなくてもいいのかなと思います。

委員                    まだ不勉強ですが、議員の年金制度、議員年金の復活が可決されたというのを少し新聞で見ました。市の財政への影響や議員さんへのメリットはありますか。

事務局                詳しくは今思い出せないですが、半分は事業主負担として数千万円、市の支出が増えてくるという影響がございます。

                            その反面、議員としては、年金をもらえる歳になりましたら保障として生活の足しにできるメリットがあります。

委員                    議員年金は、他市ではどういう状況ですか。

事務局                他市もまだない状況です。これで新しい法案が通ったという状況で、当然全国的にそうしていくということになるかと思います。

委員                    年金の話は、この審議会では切り離して考えるべきですか。

会長                    切り離すべきですが、制度が変われば議員の収入にも影響が出てきますので、それを勘案して決めていけばいいと思います。

委員                    年金は将来に向けてのもので、今議員活動をする中での生活の収入源は別の話です。将来は年金をもらえても、現在の活動費からすると10万円は手元から減っていく形かと思いますが、その辺りを加味する必要があるかと。

委員                    専門議員と副業を持ちながらの議員がいらっしゃいますが、4年に1回ある選挙での資金をためながら、さらに年金で差し引かれながらやっていくのが非常に厳しいだろうと感じました。

                            5,000円、6,000円と豊田市や岡崎市の話で出ていましたが、資料での案が0.13%の引き上げだと月1,000円や2,000円と出ており、他市との兼ね合いも考えると頭が混乱しています。

事務局 先ほどの御質問で答えられなかった議員1人当たりが抱える人口ですが、31年4月1日現在ですと、人口同規模の10市の中では、安城は多い方から1番目、全体の県下37市にしますと順位としては6番目となります。1位は岡崎市、2位が豊橋市、3位が一宮市という順位です。

人口規模が大きいと、どうしてもそこまで議員数を伸ばすことができず、自ずと大きくなっていくということだと思います。

会長 参考に、最下位はどこですか。

事務局 新城市です。

委員 今出てきた市の数字を比較していくと、議員1人当たりの人口と議長の報酬には、大まかに相関関係があるように思います。議員1人当たりの人口が多いと高い報酬で、1人当たりの人口の方が少ないと少し抑えられた報酬で多くの議員がいる。

委員 人口比較論に陥ってしまうと危ないと思いましたが、お話を聞いていると納得できる部分もあります。副業を持ってない方が議員をやめてから仕事に戻れないような事例を見ていると、議員さんの年収として800万円前後は妥当かなと、私の市民感覚では思えてきました。

委員 特別職については、いかに公約が果たせたかや、任期中の実績というか、どれだけ良くなった感覚があるかが重要だと思います。しかし、実際にこの報酬にどう跳ね返らせるかは、私もまだわかりません。

委員 公約ももちろんありますが、冒頭にあった健全経営はとても大事だと思います。子供のころは安城には魅力がないというか、面白くないと思った一面もありますが、世帯を持って生活していく中では本当に安城市はすごく住みやすい街です。市長、教育長を初め皆さんがされていることは本当に市民にとって良いことだと思いますので、そこも勘案する点になると私は考えます。

委員 私の立場から見ても、足がない高齢者の買い物が難しいとの話は聞きますが、安城市が住みやすいというのはどなたもおっしゃいます。

福祉においても、安城から他市に越していかれると「安城のときはよかったね」という話をとても聞きます。ずっといるとあまり感じないのかもしれませんが、安城市は暮らしやすく、福祉にも力を入れて

くれていると強く感じております。

委員

若いお母さんにも、安城市の評判はいいです。調べれば遊ぶ機会や公園もたくさんあり、すごく子育てしやすいという生の意見をよく聞きます。

30代ぐらいの若いお母さんたちは、早く仕事をしたい一方で、まだ働かなくてもとお姑さんなどから言われてしまうという話もよく出てきます。神谷市長は、ここ数年女性の活躍とよく言ってくださっております。その活躍は家庭でも、ボランティアでもよく、フルに正規で働くことだけではないということを市がより押し出し、多様な働き方を進めていければ、若い人がどんどん来るようなより良い安城市になっていくのではと思いました。

委員

私の町内では今、大根1本も買えないのが事実です。近くの町に行かないとスーパーがない。町内に1件あったコンビニが昨年12月でなくなって、買い物難民になりました。

また、来年の4月から近隣の企業が雇用者を増やすことで、新安城駅や地元の通り抜け道路の車の混雑はどうなるかという課題を北部では抱えています。南部では南部の課題があると思います。町内会では、北部にも少し元気を与えてくれるようにして欲しいとの声があります。

新安城駅では、駅周辺の橋上化に向けて現場が動き出していますが、駅周辺全体の土地利用構想や、境界の新しい考え方に基づいた行動を今起こさないと、とても困る事態になってしまいます。南口は駅ロータリーに面して高層ビルが建ち、ロータリーの動かしようがない。北口はまだありませんので、国道1号線と駅の前を全部広げて、きちっと計画に則った改革をしないと夢がだんだん尻すぼみになってしまう。また比較論になりますが、知立や岡崎が動き出したのに新安城は、という話題が地元では今盛んになっています。

会長

色々なご意見も出尽くしたと思います。事務局から4案を出していただいておりますので、この中から選んでいくという方向でいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員

<異議なし>

<票 決>

【市長・副市長・教育長、市議会議員いずれも同様】

A：据え置き 1名

**B：0.13%引き上げ 3名**

C：0.25%引き上げ 1名

D：県下人口同規模で財政力指数が良好な県内3市平均との差額分を引き上げ 0名

会長 最後はいろいろな意見がありましたけれども、この委員の中では、総意としてBで決めさせていただくということによろしいでしょうか。

委員 <異議なし>

会長 ありがとうございます。それでは、いろいろな御意見が出ましたが、要望等も盛んに発言として出てきましたし、いろいろな方々の御意見を吸収しながら、より良い方向に向かっていただけるよう、そしてこの引き上げによって少しでもモチベーションを上げて頑張ってくださいますようお願い申し上げます。安城市特別職報酬等審議会では、このB案ということで決定をさせていただきますので、よろしくようお願い申し上げます。

事務局 ありがとうございます。今、審議会としての案をまとめていただきました。今後、事務局で答申案の作成をし、次回市長へ答申するということとなります。

次回は、12月26日に予定をさせていただいております。後日次回の開催案内とともに、会長からお話がありましたような答申案を皆さんに送付させていただきます。

御意見がございましたら、次回の開催までに事務局に申し出てくださいたいと思っております。

それでは、これをもちまして閉会とさせていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。